

家族の安心、住宅用火災警報器から ～大切な命と暮らしを火災から守るために～

「まだ付けていない」ご家庭は設置を、「付けている」ご家庭は点検・交換を

住宅火災は、いつ起こるか分かりません。火災による被害を少しでも減らすためには、火災を早期に発見し、避難することが大切です。

住宅用火災警報器は、火災の煙や熱を感知して警報音で知らせてくれるため、火災の早期発見に役立ちます。まだ設置していないご家庭は、早めに設置しましょう。住宅用火災警報器は、寝室(寝ているお部屋)と、寝室が2階にある場合は階段部分にも設置します。「自分の家は大丈夫」と思わず、まだ設置していないご家庭は早めに設置しましょう。また、すでに設置しているご家庭も、次のことを確認してください。

＜チェックリスト＞

- ☐ 定期的に作動確認する。
- ☐ ほこりなどを取り除き、きれいにする。
- ☐ 設置から10年を目安に、機器を交換する。
- ☐ 警報音が鳴らないなどの異常がある場合は、早めに交換する。



救急出場状況 (9月分)

急病	8件(6人)
交通事故	4件(2人)
一般負傷	3件(3人)
労働災害	1件(1人)
医師搬送	1件

9月計	17件(12人)
累計	201件(177人)

※()内は傷病者搬送人員

住宅用火災警報器に関するお問合せ先

部署：指導係

担当者：奥平・山西・山田

電話：56 - 2119

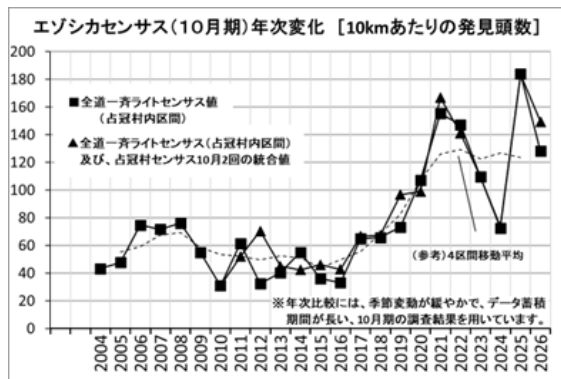


野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174

エゾシカ

9月の駆除捕獲頭数は41頭と堅調でした。村ではスポットライト調査の毎年10月値を用いてシカの増減を探っています(下図)。近年の乱高下が目立ちますが、元来バラつく調査手法なので数年分ずつ均した数値(破線)で傾向を見ると、10年ほど前から5年ほどかけて増加し、以降は高い水準を維持しているようです。安定した捕獲が続きながらこの情勢ですが、今後も急がず止まらず、捕獲を続けてまいります。



ヒグマ

村内は秋に至っても非常に平穏で、目撃情報はごくわずかです。収穫後のデントコーン圃場への侵入も

例年より少ないようです。捕獲も少なく、今年はまだ2頭に留まっています。今年はミズナラのドングリが不作です。いまのところクルミなど他の食物で代替できているようですが、それらが乏しくなる晩秋期のこれから、人里で新たな動きが出てこないか、注意してまいります。

その他

9月14日～17日に酪農学園大学の学生ら21名が来村し、野生鳥獣管理に関する実習に取り組みました。ご協力くださいました皆さまありがとうございました。



トマム学校・保育所合同学芸会

10月3日(土)に、トマム学校・保育所合同学芸会を開催しました。

「Be Yourself ～この手で描く笑顔の物語～」をテーマに、多くの地域・保護者の皆様にご来校いただき、温かな雰囲気の中で実施することができました。子どもたちは1学期から練習を重ね、本番ではその成果を十分に発揮しました。今年は富良野GROUPの松本りきさんをお招きして演劇指導を受けたことで、表現力がさらに高まりました。

また、全校合唱「365日の紙飛行機」と全校合奏「名探偵コナン」では、教職員も参加し、学校全体で一つの音楽をつくり上げました。保育所の皆さんの演目にも温かい拍手が送られるなど、心温まる一日となりました。



一日防災学校(北海道シェイクアウト)

9月4日(金)に「一日防災学校」を実施しました。

今回は、大きな地震に伴う火災を想定した避難訓練を行い、子どもたちは防災の合言葉「おかしもち」を守って素早く安全に避難しました。

煙体験では、視界の遮られる怖さを体験し、姿勢を低くして避難する重要性を学びました。

その後、役場防災担当の野原さんから村で起きた災害についてのお話を伺い、ハザードマップを使って浸水の危険箇所を確認しました。

また、避難所で使用する「段ボールベッド」の制作にも挑戦し、大人の方に助けをもらいながら全員分を完成させました。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

冬の交通安全運動の実施

～冬の路面は急変化！スリップ招く 急ぐ心にブレーキを～

「冬の交通安全運動」が実施されます！

○運動期間

11月13日(金)～11月22日(日)の10日間

○運動重点

- ◆ 高齢者を始めとする夕暮れ・夜間の歩行者事故防止
- ◆ スリップ事故防止
- ◆ 飲酒運転の根絶

ドライバーの皆さんへ

急ブレーキ、急ハンドル、急発進はスリップの原因となります。

特に日陰や橋の上、トンネルなどでは、路面が凍結している場合がありますので注意が必要です。

歩行者の皆さんへ

ドライバーから少しでも早く見つけてもらえるように、外出するときは明るい色の服装や反射材を身に付けて、自分の存在を目立たせましょう。

飲酒運転の根絶

飲酒運転は悪質な犯罪です！「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」北海道から飲酒運転をなくしましょう。

